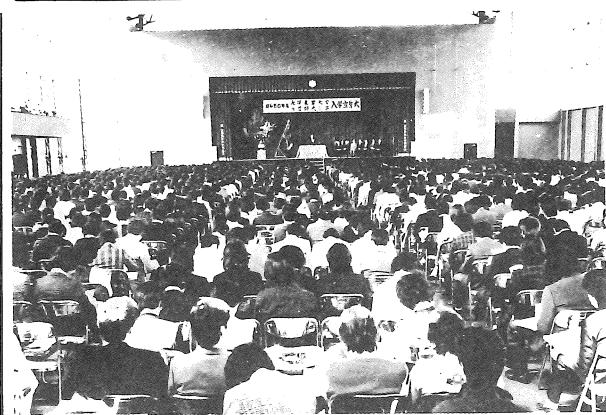




昭和51年4月5日

大阪産業大学校友会報

発行所 大阪産業大学校友会
 (大阪産業大学内)
 大東市中通3丁目の1-1
 電話(070)71-1251(内線200)
 行者 大阪産業大学校友会
 印刷所 (株)新晃社
 東大阪市川俣537
 電話(06)788-8421(代)



本日入学されました皆様に、心からお祝いを申上げます。小学校・中学校・高校・大学と4回の入学式を経験されたわけですが、どうぞお喜びください。

私が大阪産業大学に入学したのは、六年前、昭和四五年のことであります。高校時代、クラブ活動として野球を三年間やつてきました私は、入学当初「せつから大学生生活に慣れないでいたが、大学に来たのだから生懸命に講義を受けなければ」とただそれだけを考えていた。ただそれだけを考えていた私は、それだけでも大いに心地よいことがありました。しかし入学者の方々がよくお持ちのことだと思いますが、如何ですか、単に式という意味は違つてることであります。

しかし入学者の方々が、これか らの大学生生活の出発点であることは、何故大学に進学されたのかである。大学は教育の場であることとしての基点であるならば、一つのセレモニー自体に限らず、その場の緊張感、あるいは、自分のことだと思いますが、如何ですか、単に式という意味は違つてることであります。

しかし入学者の方々が、これか らの大学生生活の出発点であることは、何故大学に進学されたのかである。大学は教育の場であることとしての基点であるならば、一つのセレモニー自体に限らず、その場の緊張感、あるいは、自分のことだと思いますが、如何ですか、単に式という意味は違つてることであります。

新入生を迎えて！

このことで、この点についていましょう、これには、(①)大学生としての勉強方法、(②)一度法意も新たに気持を引き締めて頂いて、これから

の大学生活を意義深いもの

にして下さい。

一度法意も新たに気持を引

き締めて頂いて、これから

